

教室運営 | 仕事をする上で大切にしていること

経営と生徒との関わりが つながることを考えて 行動する。

田中祐太 | 長岡西の京 教室長



”先生”って初めて言われた時、嬉しかった

仕事では、当たり前なんですけど、「田中先生」って、呼ばれます。入社当初、「先生」って言われるのが新鮮で嬉しかったことを覚えています。あ、先生になったんだ。先生になったからはっきりしないといけないなと思うようになりました。

今は子供たちが頼ってきてくれて、その気持ちに答えることができることがやりがいです。

高校3年生の生徒を去年、指導してました。受験を意識しないといけないけど、なかなか自分で意識をあげるというのが出来なかった。僕自身も同じ時代があって、周りの友人は頑張っていて自分だけが取り残されたような感覚。気持ちがすごくわかりました。だから、彼にどんな言葉が響くのかなって思って、『無理して頑張らないでいいけど、続けられるように！』って伝えました。どんな小さなことでも良いんです。単語を1日10分読む。計算を毎日30分続けるとか。継続に意味がある。それから塾に休まず、遅刻せずに来てくれるようになりました。それも嬉しかったですね。



経営と生徒との関わりをつなげる

今、仕事をしながら強く意識していることは、“経営と生徒との関わりをつなげること”です。

塾は公教育ではなく、私教育。どうしても経営的な部分を見逃せません。授業料を頂き、授業させて頂くことができます。当社では生徒の遅刻率（塾全体で遅刻した人が何人か）と宿題実施率（塾全体で宿題をやってきた生徒が何人か）を毎週の会議で、経営上必要な指標として管理しています。目標は両方とも100%。当たり前が当たり前出来ること校舎を目指しています。

でも、なかなか100%にはならない。特定の生徒が遅れてきたり、宿題を忘れてきたりします。

数値を改善するためにはどうしたらよいか？ 生徒の気持ちになって、どう伝えたらよいか？を自問自答します。その上で、こうなって欲しいと期待を伝え、宿題をすることや遅刻しないことのメリットを話します。自分が子供達にどうなって欲しいのかを落とし込むことが大切だと思っています。



自分から学ぶ

入社しようと思ったのは、もともと教育業界に興味があったことと、マネージャーと社長面接で決めました。社長面接では緊張しないように雰囲気よく話してもらって、マネージャーには塾業界のポイントを話してもらいました。社長からは人柄、マネージャーからは仕事への熱意を感じました。やってみよう！と決意しました。

入社2年目ですが、入社当初より自分で考えて動けるようになって、成長したなって感じます。最初は、何をしたらよいかわからないときがあった。みんな忙しそうで、誰に頼って良いのか、聞いて良いのかも分からず落ち込んだ時があった。今思うと、みなさん手は差し伸べてもらっていたんです。ただ、当時はそれが分からなかった。2年目になり余裕もできて、周りを見る余裕ができた。今は、頼るべきところは遠慮なく頼ってます（笑）

このことは子供達にも伝えてます。

勉強も同じなんです。社長によく言われるのは「子供達に考えさせなさい。安易に答えを教えるはいけない。」と言われてます。自分で問題意識をもって質問する生徒の成績はあがります。対して、ただ漠然と「分からないから教えて。」という子供の成績はなかなか上がりません。勉強も仕事もまずは自分で考えてみる。自分なりのやり方をみつけてみる。

最近は何をするべきかを予想ができるようになり、仕事の段取りがつくようになりました。やるべきことを3つ4つ並べて、順にやっていくようにしています。やるべきことを割り振って仕事出来るようになってます。



東和商事株式会社 <http://towa-syouji.com>

〒601-8213 京都市南区久世中久世町4-2-5

TEL 075-934-7300